

道は、さまざまな人や物、文化が交流する舞台です。
そして道沿いの地域にはその地域ならではの自然、歴史、文化が息づいており、暮らします。

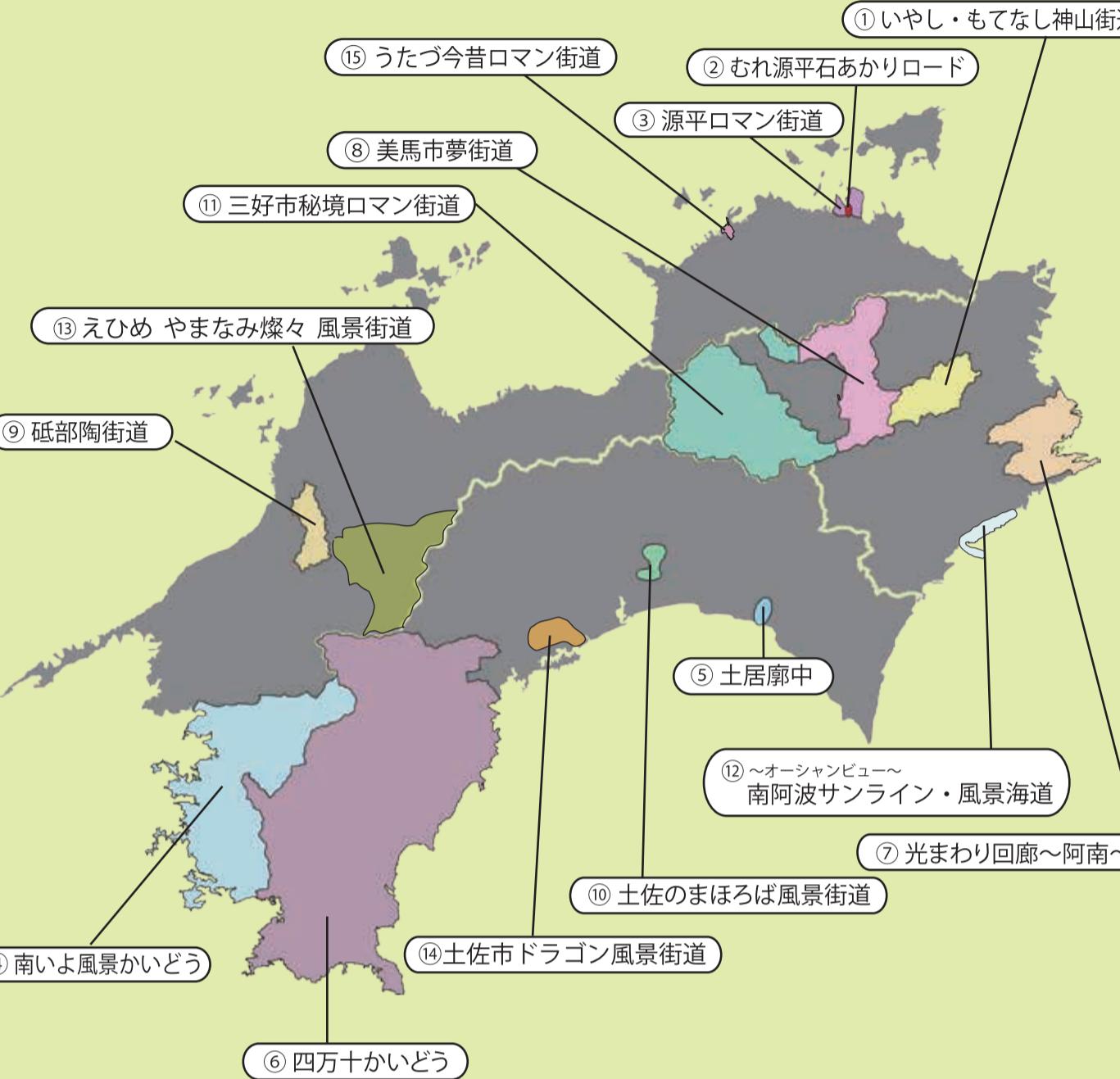
風景街道は、道と沿道、その周辺を舞台として

地元住民の皆様・NPO法人・行政など多様な主体が協力しあい、地域ならではの自然、歴史、文化等の資源を活かして、美しい景観の形成、地域の活性化、観光の振興に取り組んでいます。

その結果、かけえのない日本の原風景や国土文化が維持、再興されることを目指します。

四国の風景街道には是非お越しください。

平成19年度に風景街道の登録が始まり、全国各地で様々な取組が行われています。四国では平成27年3月までに15ルートが登録されています。15ルートのそれぞれが個性を活かし、魅力あふれるルートとなっていますので、是非お越しください。



美しい海岸線と雄大な景観が広がる“海道・うみのみち”

南阿波サンラインは、昭和49年に觀光有料道路としてオープンしましたが、利用者が低迷し昭和63年に無料化されました。建設から40年が経過し、樹木による景観阻害、施設の老朽化、投棄物など課題が生じてありますが、平成20年7月に地元関係者等による「南阿波サンライン再生プロジェクト委員会」を立ち上げ、平成24年1月には再生委員会を発足的に解消し住民主導による「南阿波サンライン活性化協議会」を設け、活性化への機運が高まっています。

～オーシャンビュー～南阿波サンライン

南阿波サンラインは海が見える道です。気持ちのいいビューポイントがたくさんあり、静かに波が押し寄せせるプライベートビーチのような入り江や波が岩にぶつづけながら水飛沫をあげるところなどいろいろな海の表情を見る事ができます。地図のビューポイントや展望台を参考に、オーシャンビューを楽しんでください。

～信仰と自然とのふれあい～

美波町、牟岐町は室戸岬～徳島県南部の海岸一帯を占める室戸阿南海岸国定公園にも指定されている、ウミガメの産卵地として知られる「大浜海岸」、約2万口程の断崖絶壁の「海食崖」、世界最大級といわれる「千年サゴ」など、豊かな自然景観に恵まれています。また、発心の場所といわれる阿波最後の靈場である野山山言宗の別格本山でもある「薬王寺」や寛利時代に興立された「海蔵寺」などの歴史施設もあります。

～牟岐沖4島 黒潮めぐり～

「～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景海道」の登録範囲には出羽島を含む四つの島も含まれています。出羽島ではミセ作りと呼ばれる南部の漁村独特の町並みが今も残っており、「出羽島・牟岐アート展」も開催されています。また、大島は釣りやダイビングで有名です。是非島にも足をはめてみていかがでしょうか。

特色

取組



A 清掃活動

B ワークショップ状況

C ビューポイント「表示板」

D ひわさうみがめトライアスロン

E サイクリング

F 星空観測

活動主体：南阿波サンライン活性化協議会
活動の範囲：美波町恵比寿浜～牟岐町大島
中心となる道路：一般国道147号日和佐牟岐線
登録年月：平成25年3月

見どころ案内（※「番号」は、表面「地図」と連動しています。）

～オーシャンビュー～ 南阿波サンライン

⑩ 千羽崖 [MAP: F-3]

標高248m・延長が約2kmの断崖絶壁。室戸阿南海岸国定公園で「特別保護地区」になっている。

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



⑪ 外ノ牟井の浜 [MAP: E-3]

サンラインの沿線で、下りに進行する3つの浜の一つ。大雨の時だけ、直接海に注ぐ滝が生まれる。

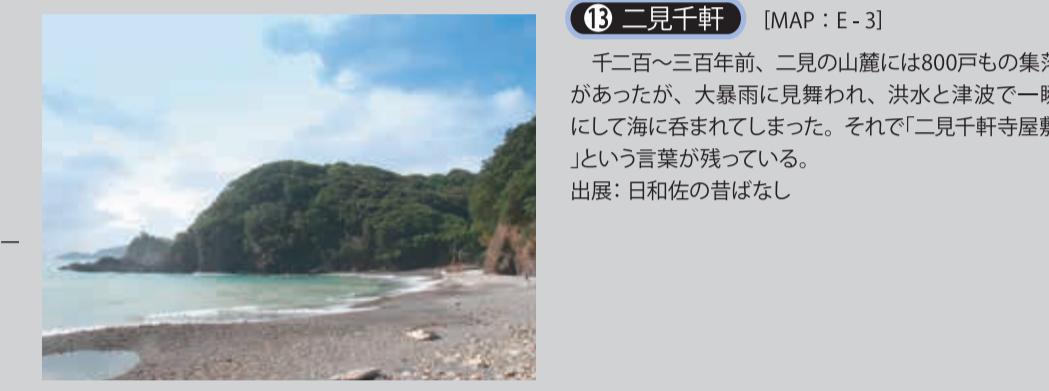
[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



⑫ 上明丸の浜 [MAP: E-4]

サンラインの中間に位置する浜。休日にはシーカヤックが見られることがある。

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



⑬ だるま朝日

冬の時期10月～2月までは、だるま朝日が見られることがある。

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



各展望台

途中に設けられた4カ所の展望台からは、リアス式海岸の変化に富んだ美しい海岸線と、太平洋に浮かぶ島々や彼方の水平線を望むことができます。

⑭ 第1展望台 [MAP: E-3]



⑮ 第2展望台

⑮ 第3展望台 [MAP: D-4]



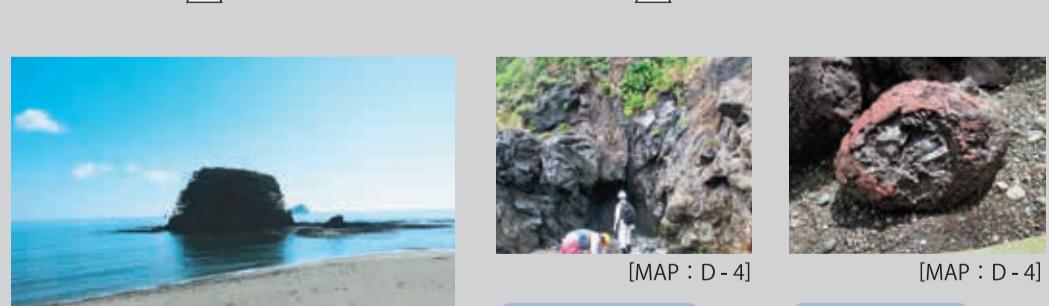
⑯ 第4展望台

⑯ 第4展望台 [MAP: C-4]

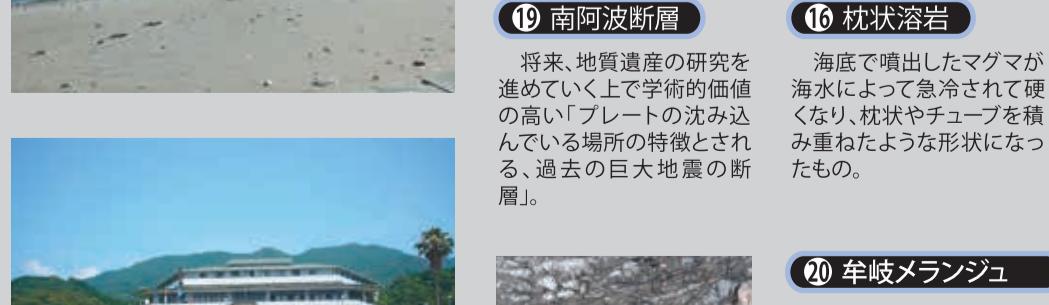


各ビューポイントからの眺望

ビューポイント△ [MAP: E-3]



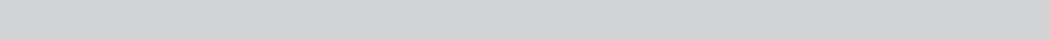
ビューポイント△ [MAP: E-4]



ビューポイント△ [MAP: D-4]



ビューポイント△ [MAP: C-4]



⑭ 松ヶ磯 [MAP: C-5]

四国八十八景に選定されている松ヶ磯。潮の満ち引きで姿を変え、潮が引くと、磯と砂浜が継続になる。

[連絡先] 0884-72-3419 (牟岐町産業課)



⑯ 南阿波断層

将来、地質遺産の研究を進めていく上で学術的価値の高いフレートの沈み込んでいる場所の特徴とされる、過去の巨大地震の断層。

[連絡先] 0884-72-2811 (牟岐町産業課)



⑰ 牟岐少年の家 [MAP: C-5]

青少年育成を目的とした、県教育施設。自然環境を活かした各種プログラムを開催している。

[連絡先] 0884-72-2811 (牟岐町産業課)



⑱ 牟岐マレンジャー

最ももともと深さ2mの地底で、プレートの沈み込んだたった岩石。様々な岩石が強い圧力と熱を受けて、再編成されたカラフルな地層となっていました。

[連絡先] 0884-72-2811 (牟岐町産業課)



信仰と自然とのふれあい

⑤ 薬王寺 [MAP: F-2]

四国八十八ヶ所23番札所国道55号線沿いから眺める「ゆきうら」の風景が広く親しまれている。厄除祈願としても有名。

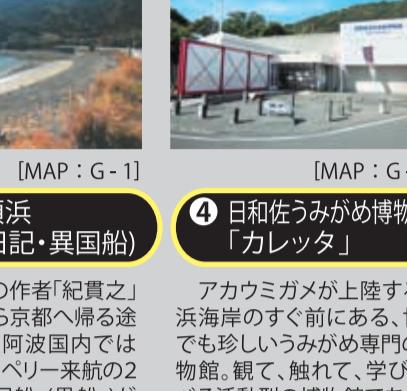
[連絡先] 0884-77-0023



③ 大浜海岸 [MAP: G-1]

アカウミガメの産卵地として広く知られている。日本の渚百選、四国のみべ八十八ヶ所にも選ばれている。【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



① 恵比須浜 [MAP: G-1]

土佐の作の「紀伊國之」が、土佐から京都へ帰る途上に停車。【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



② えびす洞 [MAP: G-1]

標高52mの岩山に、波の浸蝕で直径30mもの大きな穴が開いた奇跡「イワツバメ」の生息地にもなっています。【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)

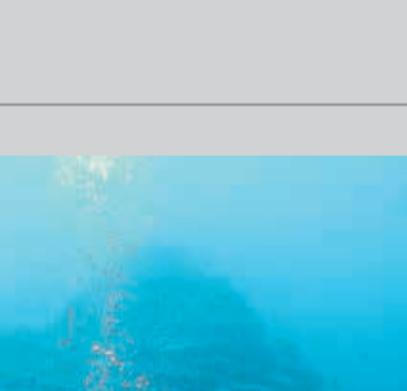
[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



⑦ 日和佐城 [MAP: F-2]

約150本の「メイヨシ」が見れます。室町時代に日和佐肥前守が築城したといわれる。【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



⑨ 海蔵寺 [MAP: B-5]

脱藩した土佐藩士の志士「二十三士」一行は、穴場の閣所で止められ、牢城に護送され、太平洋を見下ろす海蔵寺で監禁を受けた。【連絡先】0884-72-0543

[連絡先] 0884-72-0543



⑩ 通り岩 [MAP: F-3]

約2キロにも及ぶ垂直絶壁の千羽崖にあり、波の浸蝕で形成された洞窟。うみがめマリンクルーズでは船で通り抜ける。【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)

[連絡先] 0884-77-3617 (美波町産業振興課)



牟岐沖4島 黒潮めぐり

⑪ 千羽崖を望む道コース

千羽崖の雄大な光景を望みながら、起伏の激しい海岸線を進むみみち。

⑫ 潮見そよみちコース

波飛石で、温かな漁港、大航海に点在する島々に手が届きそうなコース。

【連絡先】0884-77-3617 (美波町産業振興課)
0884-72-3419 (牟岐町産業課)

[連絡先] 0884-77-1730



⑯ 出羽島 [MAP: B-7]

明治から昭和初期にかけて漁業で栄え、伝統的な漁村集落の景観が現在も良く残っています。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。【連絡先】0884-72-3419 (牟岐町産業課)

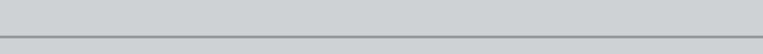
[連絡先] 0884-72-3419 (牟岐町産業課)



㉑ 千年サンゴ [MAP: D-7]

1000年以上かけて成長している高さ8mの「ハマサンゴ」。世界最大級といわれ、牟岐の海の貴さをあらわしている。【連絡先】0884-72-3419 (牟岐町産業課)

[連絡先] 0884-72-3419 (牟岐町産業課)



㉒ 出羽島連絡船

JR牟岐駅～牟岐駅間歩行約8分、連絡船約15分【連絡先】0884-72-0069 道の駅 日和佐
TEL:0884-77-2121 高速バス ディズニーバス TEL:088-622-1811